

スクールピックアップ



ユニホーム姿で清掃する団員ら

猪苗代スポ少団員が清掃活動

猪苗代小学校の児童を中心に構成する猪苗代スポーツ少年団は8月22日、清掃活動を実施し、町内の環境美化に努めました。

同校に集まった1年生から6年生までの団員約60人は、4班に分かれて清掃を開始。保護者らと一緒に同校や町役場の周辺、商店街などを歩き、熱心にごみを拾い集めました。

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

満たすという意味がある「填」と希望の「希」。「希望で満たされますように」。填希くんの名前には、両親のそんな願いが込められています。

あだち あすま 足立 填希 くん

平成25年2月生まれ
～戸ノ口
朝臣さん・礼子さん夫婦の長男

家族全員が同じイニシャルの足立さん一家。填希くんの名前は偶然かと思いきや、「狙って付けた」とパパの朝臣さん。「みんな同じにしたかったので、『あ』から始まる名前にしました」と笑いながら話します。

磐梯高原南ヶ丘牧場が職場の足立さん夫婦。「たまに填希を連れていくと、会社の人にかまってもらってニコニコしています」とママの礼子さん。そんな填希くんですが、家では大好きなママにべったり。礼子さんが少しでも離れると泣いてしまうのだとか。

最近、寝返りが上手になり、ずりばいもできるようになった填希くん。「もう少し大きくなったら、牧場のロバに乗せてあげたいですね」。朝臣さんは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(02)2111

ご寄付ありがとうございます



土屋重憲教育長に図書を手渡す池田さん(中央)と小椋さん(右)

すずらん会ほか有志の皆さん 児童書 18冊

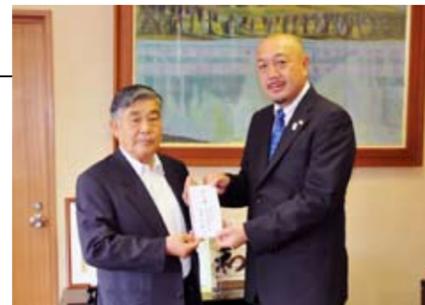
小椋恵子さん(半坂)と池田敦子さん(名古屋町)は8月22日、町役場を訪れ、来年4月に開館予定の(仮称)町ふるさと歴史館の図書充実のために児童向け図書18冊を寄贈しました。小椋さんが会長を務める「すずらん会」のメンバーが中心となって磐梯まつりに出店し、その収益金で図書を購入したものです。

新政経懇話会(東京都) 災害復興支援協力金

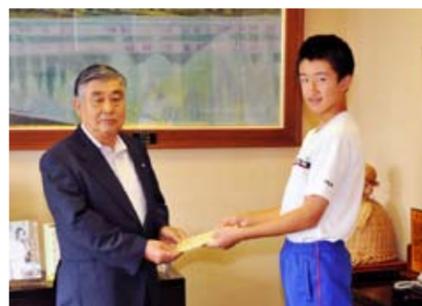
東京都の新政経懇話会は8月13日、災害復興支援協力金として町に26万円を寄付しました。

同会は、7月に東京都で震災復興チャリティーゴルフコンペを開催。収益金の一部を町に寄せたものです。

復興支援を続ける同会では、いなわしろ花火大会にも協賛金を寄せるなどしています。



前後公町長に寄付金を贈る坂義人代表理事(右)



前後町長に善意を手渡す東深沢中の板垣拓磨生徒会長(右)

みしまの森学舎(東京都) 災害復興支援協力金

東京都の「みしまの森学舎」は8月5日、災害復興支援協力金として町に20万7461円を寄付しました。

世田谷区の東深沢中とその学区内の東深沢小、等々力小の区立3校で組織する同学舎は、震災後、生徒会や児童会を中心に募金活動を展開。東深沢中が本町でスキー合宿をしていることから寄せられたものです。

スクールピックアップ



三瓶水葵さん

Voice

見学に行く前は地熱発電のことをよく知りませんでしたが、発電所の人から説明を受けたり、地熱発電の模擬体験をしたりして、発電の仕組みがとてもよく分かりました。猪苗代でもやってみたらいいと思いました。



発電所職員の説明を熱心に聞く児童ら

長瀬小児童 地熱発電の仕組みを学ぶ

長瀬小学校の6年生18人は7月21日、柳津町の柳津西山地熱発電所を見学しました。

本年度、同校が復興庁・文部科学省の「復興支援事業」、いわき明星大学・県教育委員会連携事業である「再生可能エネルギー教育推進モデル校」に選ばれ、その事業の一環として行われたものです。

児童らは、同所のPR館で職員から説明を受けるなどして、地球内部の熱を利用して発電する仕組みについて理解を深めました。

この事業は、将来のエネルギー社会を担う子どもたちに正しい知識や思考力・判断力を身に付けさせていくことが狙いで、同校では今後、外部講師を招いて授業を行うほか、いわき明星大学に向いて講義を受けるなどして学習を進めていく予定です。

12月7日には、モデル校の9校が郡山市労働福祉会館に集まり、発表会を開く予定になっています。